

いよいよ 新しい羽幌港が スタート！

昭和54年の羽幌川切替工事の開始とともに計画された「羽幌港長期整備計画基本構想」による羽幌港の形が、33年間の歳月をかけて、いよいよ完成の節目を迎えます。「羽幌港のあゆみと新たな姿」のシリーズ第三回目は、4月からの羽幌港の新たな姿を特集でお伝えします。

1 耐震岸壁を備えた中央ふ頭が完成、供用開始します。

中央ふ頭は、従来のフェリー岸壁の北側に海を埋め立てて作られ、万が一の災害の際、耐震岸壁を備えています。

2 フェリーターミナルと北るもい漁協の施設が中央ふ頭に新築完成、移転。

フェリーターミナルと北るもい漁協の事務所、市場、直売所などの新築工事が、2月末から3月中旬に完成、4月から中央ふ頭の新たな歴史がスタートします。(詳しくは4~6頁)

3 新しい高速船「さんらいなあ2」が就航します。

羽幌沿海フェリーの新造船「さんらいなあ2」が就航。4月8日から運航を開始します。(詳しくは6頁)



4 港と市街地を結ぶ、小型の連絡バスも運行します。

フェリーターミナルと、沿岸バス本社ターミナル(南3の2)を結ぶ連絡バスも沿岸バスにより運行になります。(詳しくは7頁)



西防波堤

港町荷揚場

中央ふ頭

フェリー

フェリーターミナル

浜町荷揚場

北るもい漁協 関連施設
(事務所・市場・直売所)

福寿川

羽幌川

北防波堤

写真は、平成24年10月撮影のため、
工事中の様子が写っています。

天売島・焼尻島と羽幌を結ぶ離島航路の拠点

新羽幌フェリーターミナル完成！

昨年8月から、中央ふ頭で新築の工事が行われていた羽幌フェリーターミナル。このたび完成し、現在のフェリー岸壁から移転、4月1日から供用開始の予定です。開放的で明るく広々とした窓からは海が見え、木のぬくもりある施設は、ロマンの島、天売・焼尻への発着点にふさわしい、やさしい施設に生まれ変わりました。天売・焼尻への玄関口、生活や観光に今後大きな役割をになっていきます。



海やフェリーが見える明るい窓辺にはパソコン2台が配置され、インターネットができる他、壁にはモニター画面を設置し、観光映像が流れます。左側にはミニキッチンも。



木のぬくもりあふれる待合いのスペース。床には黄色の点字ブロック。正面中央の自動ドアを出るとフェリー乗り場です。



トイレは障がい者用や赤ちゃんのいるお母さんの授乳設備も完備。夏は外からの出入りもできるので24時間利用できます。



正面入口から入ると、左が観光案内所、右が乗船券売場。乗船券売場の奥は、羽幌沿海フェリーの事務室になっています。



島へ運ぶ荷物を一時的にストックしておく保管庫。荷物搬入のためのシャッターを建物の前後に計4箇所設けています。

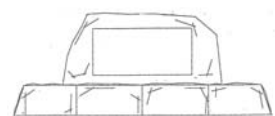


(上)フェリー乗り場側の外観。建物は濃いブルーの色。(下)正面入口側からの外観。左側がバリアフリーのスロープになっています。

- ・総事業費 2億3,966万円
- ・フェリーターミナル棟
(待合室、観光案内所、事務室等)
木造2階建 約481㎡
- ・保管庫棟・渡り廊下棟
鉄骨造平屋 約316㎡
- ・敷地面積 約5,085㎡

■羽幌港完成記念モニュメント■

ターミナル横には記念のモニュメントを設置します。(3月末に完成予定)
焼尻島出身の書家、中野北溟氏の書「北の蒼い海」と羽幌港建設の歴史が刻まれた高さ1.5mの石の記念碑です。



- ①ターミナル棟 ②倉庫棟 ③ターミナル棟正面入口 ④フェリー乗り場
⑤フェリー停泊位置 ⑥記念モニュメント ⑦⑧駐車場 ⑨作業スペース
⑩漁協(事務所・市場) ⑪漁協(直売所)

「羽幌港連絡バス」も運行！

フェリーターミナルから、市街地までは連絡バスも4月1日から運行します。フェリーの発着時間に合わせて運行し、島民や観光客の利便性を向上、また、車体にはアニメ風美少女キャラクタ「観音崎らいな」が描かれ、町の観光イメージアップにつなげます。



【連絡バスのイメージ図】 白の車体に青のラインで高速船と色あいを統一

「観音崎らいな」

沿岸バスの「萌っ子フリーきっぷ」のアニメ風美少女キャラクタの一人。天売島にちなんだキャラクタです。

小型バスの特徴

車体 定員13名の小型バス
 運行経路 フェリーターミナルと沿岸バス本社ターミナル間1.5km
 所要時間 約10分
 運賃 大人 200円
 小学生以下 100円

※2点間運行で、途中乗り降りはできません。
 ※フェリー欠航の場合は運休。

お問い合わせ 沿岸バス ☎ 62-1550

新高速船「さんらいなあ2」就航！

21年ぶりに高速船が新しくなります。3月中旬には羽幌港に入港、検査や試運転を経て4月8日に初運航の予定です。「フェリーおろろん2」とともに、離島航路の活性化に期待が寄せられています。

船の特徴

全長 約35m 幅 約6m
 総トン数 122トン 航海速度 23ノット
 定員 130名(全席イス)
 高張力鋼製を使用し、波に対する安定感があります。
 通路やトイレ等は車椅子も通れる
 バリアフリー対応です。

従来の高速船と大きさや速度はほぼ変わりません。運航時間や運賃も同じです。

高速船運賃割引を拡充！

6月に試乗体験キャンペーンを実施！

島民対象～フェリー休航期間の急行料金全額割引の現行割引に加え、他の期間も急行料金3割引。

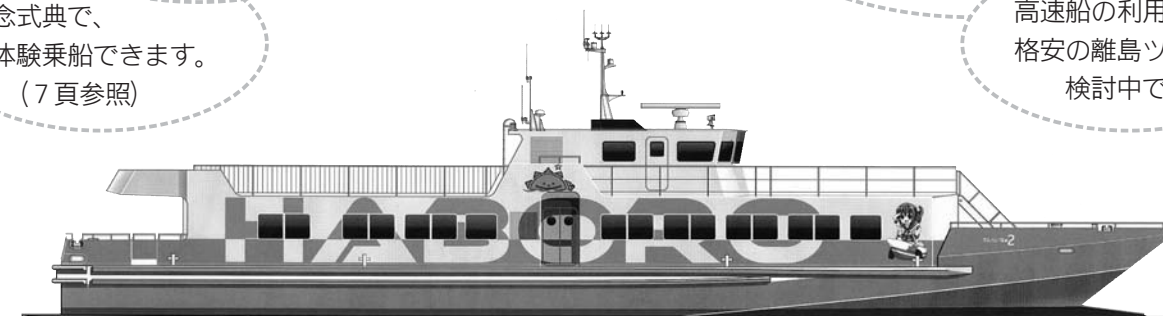
島民以外の一般対象

6月限定で高速船の運賃を3割引にします。

※割引制度の詳細は別途お知らせします。

記念式典で、体験乗船できます。(7頁参照)

高速船の利用拡大に格安の離島ツアーも検討中です。



【新高速船イメージ図】 船体は、白と青を基調に「HABORO」の文字。上部には、これまで親しまれてきたサンセット王国のキャラクタ。また、沿岸バスの「萌えっ子」キャラクタの中から「観音崎らいな」が描かれています。

お問い合わせ 羽幌沿海フェリー ☎ 62-1774

4月14日(日)
午後1時～

羽幌フェリーターミナルの竣工記念と中央ふ頭供用開始の記念式典を開催します

町民のみなさんと一緒にお祝いする記念式典です。羽幌港の新たなスタートを祝う企画が盛りだくさん。みなさん、ぜひ、ご参加ください！

▶ 場所～新フェリーターミナル

詳しくは、後日回覧でお知らせします。



記念式典では、テープカット、甘酒でお祝いします。(甘酒無料提供) 羽幌港完成記念のモニュメント除幕式も実施 新しい高速船の体験乗船や、モチまきもありますのでご家族でご参加ください。

お問い合わせ 羽幌町役場(代表) ☎ 62-1211 ・羽幌港及びフェリーターミナルについて 建設水道課港湾係
 ・新高速船と連絡バスについて 町民課町民生活係 ・記念式典について 総務課企画室

北るもい漁協の事務所、市場、直売所も新築完成、移転！

フェリーターミナルの工事とともに、北るもい漁業協同組合の事務所、市場、直売所も新築工事が進んでいましたが、3月中旬に完成、移転しました。新たに直売所もできました。



北るもい漁業協同組合の事務所と荷さばき所(羽幌地方卸売市場)。



加工品や冷凍品、鮮魚などの直売所「産直工房きたる」。4月24日オープン予定。

お問い合わせ 北るもい漁業協同組合 ☎ 62-1291